

(別紙 2)

論文審査の結果の要旨

論文題目 紀元前6世紀のアッティカ黒像式陶器の展開、陶画家クレイティアスを中心に

氏名 平山東子

「描かれたギリシア神話の百科事典」とも称されるフィレンツェ考古学博物館所蔵の「フランソワの壺」は紀元前6世紀前半のギリシア・アッティカ陶器の傑作としてこれまでも多くの研究者によって詳細な研究がなされてきた。この壺に神話場面を描いた陶画家クレイティアスの作品全体を対象としてその全貌を解明しようとする研究はこれまでになされたことはない。

本論文の著者は、クレイティアスに同定されている作品のすべてを精査し、これまでクレイティアスに帰せられていた作品のうち9点をその周辺画家のグループもしくは何らかの関係もない作品グループとして分類し、クレイティアスの全体像の輪郭を明確にしたうえで、クレイティアスの様式的特徴とその変遷を解明することを目的としている。

著者の同定は様式、描法、器形の分析、図像の解析にもとづく説得力のあるものでアッティカ黒像式陶器画研究における最初のクレイティアスに関するモノグラフィーともいえる論文になっている。また、クレイティアスと影響関係のある陶画家の研究も行い、初期アッティカ黒像式陶画家の中核をなした陶画家との相関関係をより明確に浮き上がらせることに成功している。

詳細な調査研究に基づく論考であるが、一部に論旨の明快さを欠くところがあり、用語に関しても不適切な例が見られるものの、全体としてはきわめて高度な研究論文と評価できる。よって、審査委員会は、本論文が博士（文学）の学位に値するとの結論に達した。